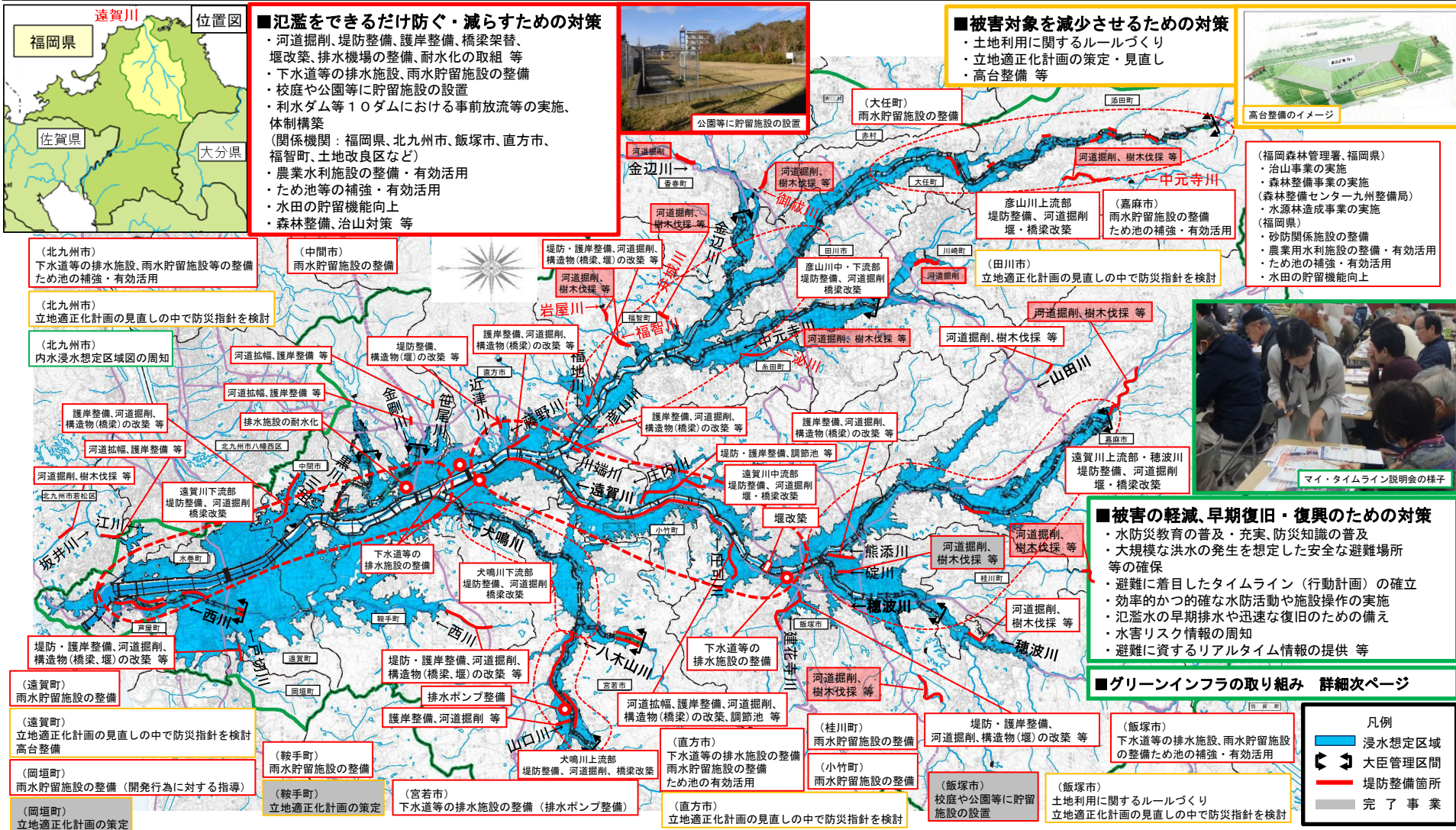


# 遠賀川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～観測史上最高水位を観測した平成30年洪水及び気候変動に対応した流域21市町村一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、遠賀川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の平成30年7月洪水と同規模の洪水及び気候変動による降雨量の増加に対して、本川の堤防からの越水を回避するなど、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 遠賀川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～観測史上最高水位を観測した平成30年洪水及び気候変動に対応した流域21市町村一体となった防災・減災対策～

- 遠賀川では、流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】遠賀川本川の中下流部等では、河道掘削や築堤等を実施するとともに、既存ダムでの洪水調整機能の強化、雨水貯留施設等の対策を進めることで、平成30年洪水で浸水被害が発生した区間の浸水被害軽減を目指す。
  - 【中長期】遠賀川本川及び支川では、堰改築や河道掘削等を実施し、流域全体の浸水被害軽減を目指す。あわせて、流域の特徴を踏まえ、水防災教育の普及・充実、防災知識の普及や避難に着目したタイムライン(行動計画)の確立等のソフト対策等、流域が一体となって被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を推進する。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	本川中下流部の浸水被害を軽減するための対策(河道掘削、築堤等) 本川上流及び支川の浸水被害を軽減するための対策(堰改築、河道掘削等)	遠賀川河川事務所、福岡県、北九州市 等	本川中下流部		
	内水氾濫対策	下水道等の排水施設、雨水貯留施設等の整備	流域21市町村 等		本川上流及び支川	
	流域の雨水貯留機能の向上	校庭や公園等に貯留施設の設置 農業水利施設の整備・有効活用、ため池等の補強・有効活用、水田の貯留機能向上				
	土砂災害対策	森林整備、治山対策		福岡県森林管理署、福岡県、森林整備センター九州整備局		
	流水の貯留機能の拡大	砂防関係施設の整備 利水ダム等10ダムにおける事前放流等の実施、体制構築		福岡県 遠賀川河川事務所、福岡県、北九州市、関係機関 等		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	土地利用に関するルールづくり 土地適正化計画の策定・見直し 安全な避難場所の確保のための取り組み	遠賀川河川事務所、福岡県、流域21市町村 等			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	水防災教育の普及・充実、防災知識の普及	遠賀川河川事務所、福岡県、流域21市町村 等			
		水害リスク情報の周知				
	避難体制等の強化	避難に資するリアルタイム情報の提供				
		大規模な洪水の発生を想定した安全な避難場所等の確保 避難に着目したタイムライン(行動計画)の確立 効率的かつ的確な水防活動や施設操作の実施				
関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	氾濫水の早期排水や迅速な復旧のための備え					
グリーンインフラの取組	生物の多様な生態系・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成	現存する生態系のネットワーク化の推進	遠賀川河川事務所、環境省、福岡県、流域21市町村 等			
		多様な生態系の保全(農業関係)	福岡県 等			
	自然環境の保全・復元などの自然再生	河川の縦断的連続性の保全・再生	遠賀川河川事務所、福岡県、関係機関 等			
		河川とその周辺の連続性の再生				
	治水対策における多自然川づくり	多様な河川環境の保全又は創出				
		多自然川づくりについての課題等の情報共有				
	魅力ある水辺空間	地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携支援				
		田川地区かわまちづくり 中間地区かわまちづくり	遠賀川河川事務所、田川市 等 遠賀川河川事務所、中間市 等			
自然環境が有する多様な機能活用の取組み	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	グラウンド、公園、ため池等を活用した雨水貯留	北九州市、直方市、飯塚市、嘉麻市 等			
		小学校などにおける河川環境学習	遠賀川河川事務所、環境省、福岡県、流域21市町村 等			
		河川協力団体等への活動支援				
		産学官による水に関する取組の情報共有				



気候変動を踏まえた更なる対策を推進

- 河川対策 (約1,018億円)
- 砂防対策 (約57億円)
- 下水道対策 (約63億円)

# 遠賀川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～観測史上最高水位を観測した平成30年洪水及び気候変動に対応した流域21市町村一体となった防災・減災対策～

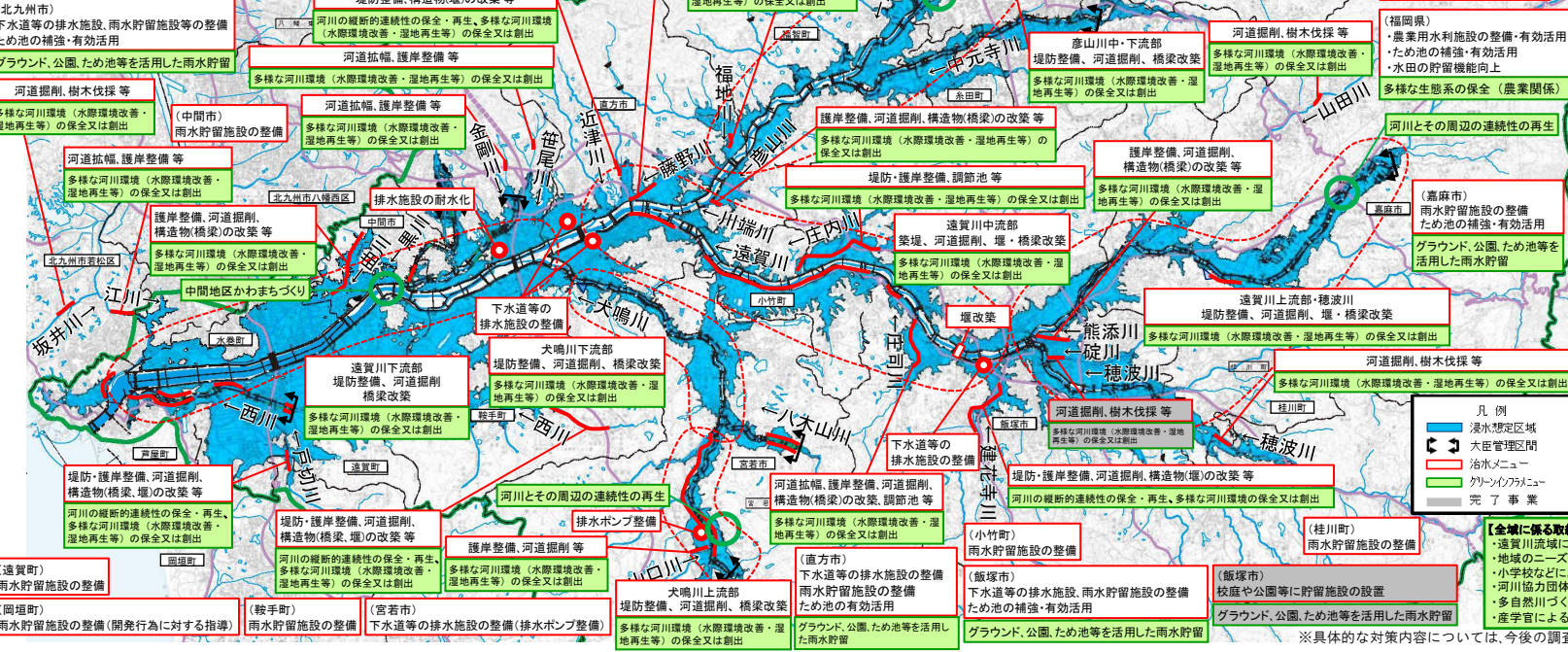
## ■グリーンインフラの取り組み 『石炭産業で栄えた遠賀川流域の自然再生と観光振興・地域活性化の推進』

- 遠賀川流域では、石炭採掘に伴う鉱害復旧事業や高度経済成長期に急速に進められた河川改修等の影響により河川の自然環境は失われてきましたが、近年の多自然川づくりの取組等により、遠賀川の河川環境（瀬・淵、砂州、ワンド・たまり、ヨシ原等）は回復しつつある。
- 遠賀川流域においては、適度な人為的影響の下で多様な生物が息息・生育し複雑な種間関係が存在していたと考えられる明治期以前の自然環境に近づけるため、河川とその周辺の連続性の再生をはじめ、現存する生態系をネットワーク化するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。
- 景観・歴史・文化・観光基盤等の地域資源を活かし、河川空間とまち空間が融合した憩いと賑わいのある水辺空間を創出するグリーンインフラの取組を推進する。



- 生物の多様な息息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成**
  - ・現存する生態系のネットワーク化の推進
  - ・多様な生態系の保全（農業関係）
- 自然環境の保全・復元などの自然再生**
  - ・河川の縦断的連続性の保全・再生
  - ・河川とその周辺の連続性の再生
- 治水対策における多自然川づくり**
  - ・多様な河川環境（水際環境改善・湿地再生等）の保全又は創出
  - ・多自然川づくりについての課題等の情報共有

- 魅力ある水辺空間**
  - ・田川地区かわまちづくり
  - ・中間地区かわまちづくり
  - ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携支援
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み**
  - ・グラウンド、公園、ため池等を活用した雨水貯留
  - ・小学校などにおける河川環境学習
  - ・河川協力団体等への活動支援
  - ・産学官による水に関する取組の情報共有



- 凡例
- 浸水想定区域
  - 大庄管理区域
  - 治水メニュー
  - グリーンインフラ
  - 完了事業
- 【全流域に係る取組】
- ・遠賀川流域における現存する生態系のネットワーク化の推進
  - ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携支援
  - ・小学校などにおける河川環境学習
  - ・河川協力団体等への活動支援
  - ・多自然川づくりについての課題等の情報共有
  - ・産学官による水に関する取組の情報共有
- ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

項目	北九州市	直方市	飯塚市	田川市
<b>氾濫を防ぐための対策</b>				
未活用のため池などを貯留施設として整備	国の補助事業を活用した未利用ため池の廃止において、調節機能の付与や調節池への転用等を検討 ため池の低水管理を実施			
新たに遊水池、調節池の整備			平恒地区にV=22,000m <sup>3</sup> 、赤坂地区にV=650m <sup>3</sup> の調整池を設置	
雨水貯留管（下水道管）の整備				
校庭貯留施設の整備			オンサイト式貯留設備を整備（飯塚小学校680m <sup>3</sup> 、片島小学校720m <sup>3</sup> ）	
公園貯留施設の整備			浸水被害軽減のため、市内9箇所の公園を貯留施設（オンサイト式など）で整備。	
雨水浸透施設の整備	開発行為において、都市計画法第32条に基づく協議の上で、事業者が雨水浸透施設を整備 公園・道路施設において、雨水浸透施設の整備を検討		分流化を目的とし、雨水ポンプ場新設を含めた雨水浸透側溝の整備（約28.6ha）	
各戸貯留に対する助成			平成23年度から平成26年度において、飯塚市貯留タンク設置整備事業を実施	
<b>被害対象を減少させるための対策</b>				
居住誘導区域等の設定	平成28年9月に策定した「北九州市立地適正化計画」の見直しの中で、防災指針を検討	H31.3直方市立地適正計画を策定。その中で居住誘導区域を設定。	平成28年に「立地適正化計画」を策定し「居住誘導区域」を設定した	立地適正化計画により実施
災害危険区域等の設定				国や県と連携し災害危険区域を設定
<b>その他項目にない事業</b>				
	・透水性舗装の整備 ・法面緑化の検討	・雨水管理総合計画の策定 基礎調査～浸水要因分析と地域ごとの課題整理	合流式下水道区域にて雨水ポンプ場を2箇所新設及び分流化	

# 令和4年度 各機関の取り組み状況の共有

項目	中間市	宮若市	嘉麻市	芦屋町
<b>氾濫を防ぐための対策</b>				
未活用のため池などを貯留施設として整備			現在使われているため池の貯水量を数割減らして下流域住宅への災害リスクを軽減。	
新たに遊水池、調節池の整備			鴨生地区においてV=56000m <sup>3</sup> の調整池及びそれに伴う導水路等の建設(合併債)	花美坂区(農業用・貯水用)、総合体育館(貯水用)の2箇所にて調節池を整備
雨水貯留管(下水道管)の整備				
校庭貯留施設の整備				
公園貯留施設の整備	H28に土手ノ内2区第1児童遊園地下に調整池を整備			
雨水浸透施設の整備				
各戸貯留に対する助成				
<b>被害対象を減少させるための対策</b>				
居住誘導区域等の設定				
災害危険区域等の設定				
<b>その他項目にない事業</b>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水ポンプの整備(磯光、金丸・福丸地区)</li> <li>・鶴田地区排水ポンプ施設整備着手</li> <li>・龍徳・本城地区内水対策の検討予定</li> </ul>		

# 令和4年度 各機関の取り組み状況の共有

項目	水巻町	岡垣町	遠賀町	鞍手町
<b>氾濫を防ぐための対策</b>				
未活用のため池などを貯留施設として整備				
新たに遊水池、調節池の整備		開発行為の中で協議により事業者が設置	JR遠賀川駅南地区において組合施行による土地区画整理事業を計画しており、調整池を整備予定	流域にある準用河川の氾濫軽減のため調節池の整備
雨水貯留管（下水道管）の整備				
校庭貯留施設の整備				
公園貯留施設の整備				
雨水浸透施設の整備				
各戸貯留に対する助成				
<b>被害対象を減少させるための対策</b>				
居住誘導区域等の設定		令和5年3月31日付で立地適正化計画を策定。防災指針を踏まえた居住誘導区域を設定した。	土砂災害危険区域を除外し、居住誘導区域を設定 次回見通しで防災指針を追加予定	令和4年3月31日付で立地適正化計画を策定。居住誘導区域は、土砂災害危険区域を除外して設定。また、誘導区域内は防災指針に基づく取組を検討・実施し、災害リスクの回避、低減に取り組む。
災害危険区域等の設定		本年度に河川や溜池を含めた浸水想定区域の見直しを行い、防災マップの改定を検討する。		国土交通省と福岡県が作成した浸水想定区域図を基に町内の浸水想定区域を設定
<b>その他項目にない事業</b>				
	町ホームページから遠賀川の水位を確認できる監視カメラを設置	河川・水路内の浚渫工事	遠賀川下流域における重大な災害が発生した場合の水防・防災拠点としての高台整備並びに高台避難所整備を国と協議中	

# 令和4年度 各機関の取り組み状況の共有

項目	小竹町	福智町	桂川町	香春町
<b>氾濫を防ぐための対策</b>				
未活用のため池などを貯留施設として整備				
新たに遊水池、調節池の整備	平成30年度に御徳2地区において容量V=3500tの調整池を新設		調整池を新たに整備し、災害に強いまちを実現し定住促進の環境整備を図る	
雨水貯留管（下水道管）の整備				
校庭貯留施設の整備				
公園貯留施設の整備				
雨水浸透施設の整備				
各戸貯留に対する助成				
<b>被害対象を減少させるための対策</b>				
居住誘導区域等の設定				
災害危険区域等の設定				
<b>その他項目にない事業</b>				
	(予定) ・南良津調整池の浚渫 ・農業用塩頭溜池の浚渫 ・南良津排水機場のエンジン更新 ・排水ポンプの新設			・河川、水路内の土砂浚渫工事 ・灌漑用ダムの改修計画

# 令和4年度 各機関の取り組み状況の共有

項目	添田町	糸田町	川崎町	大任町
<b>氾濫を防ぐための対策</b>				
未活用のため池などを貯留施設として整備				
新たに遊水池、調節池の整備				町営住宅建設に伴い、3箇所調整池を設置
雨水貯留管（下水道管）の整備				
校庭貯留施設の整備				
公園貯留施設の整備				
雨水浸透施設の整備				
各戸貯留に対する助成				
<b>被害対象を減少させるための対策</b>				
居住誘導区域等の設定				
災害危険区域等の設定	河川洪水浸水想定区域、ため池浸水想定区域等をハザードマップに記載	災害危険区域を設定	浸水想定区域を設定	災害危険区域を設定
<b>その他項目にない事業</b>				



# 令和4年度 各機関の取り組み状況の共有

項目	赤村	福岡県 河川整備課	福岡県 河川管理課	福岡県 砂防課
<b>氾濫を防ぐための対策</b>				
未活用のため池などを貯留施設として整備				
新たに遊水池、調節池の整備				
雨水貯留管（下水道管）の整備				
校庭貯留施設の整備				
公園貯留施設の整備				
雨水浸透施設の整備				
各戸貯留に対する助成				
<b>被害対象を減少させるための対策</b>				
居住誘導区域等の設定				
災害危険区域等の設定				
<b>その他項目にない事業</b>				
		雨水貯留浸透施設整備のための調査費補助・・・市町村 雨水貯留浸透施設の整備費補助・・・市町村又は、民間事業者	河川におけるソフト対策・・・危機管理型水位計や簡易監視カメラの増設、洪水浸水想定区域図の公表	砂防関係施設の整備 流域内において、砂防事業・急傾斜地崩壊対策事業・地すべり対策事業を実施

# 令和4年度 各機関の取り組み状況の共有

項目	福岡県 都市計画課	福岡県 下水道課	福岡県 農山漁村振興課	直方県土整備事務所
<b>氾濫を防ぐための対策</b>				
未活用のため池などを貯留施設として整備				
新たに遊水池、調節池の整備		明星寺川流域下水道事業(H17～H26)にて、雨水幹線、調整池を整備※飯塚市に移管H26		
雨水貯留管(下水道管)の整備				
校庭貯留施設の整備				
公園貯留施設の整備				
雨水浸透施設の整備				
各戸貯留に対する助成				
<b>被害対象を減少させるための対策</b>				
居住誘導区域等の設定				
災害危険区域等の設定				
<b>その他項目にない事業</b>				
			既存ダムの洪水調節機能強化の取組み(治水協定)	

# 令和4年度 各機関の取り組み状況の共有

項目	飯塚県土整備事務所	田川県土整備事務所	北九州県土整備事務所	
氾濫を防ぐための対策				
未活用のため池などを貯留施設として整備				
新たに遊水池、調節池の整備				
雨水貯留管（下水道管）の整備				
校庭貯留施設の整備				
公園貯留施設の整備				
雨水浸透施設の整備				
各戸貯留に対する助成				
被害対象を減少させるための対策				
居住誘導区域等の設定				
災害危険区域等の設定		土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域の設定		
その他項目にない事業				